

フォローアップ適運に基づく活性化項目の目標(令和7年度)

諫早市タクシー準特定地域協議会			令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度 目標値	令和7年度 目標値	設定理由	
			事業者数(社)	6	6	5				
			車両数(台)	154	154	154				
			運転者数(人)	204	205	170				
			取組結果	取組結果	目標値	取組結果	達成率			
活性化事業項目	① 妊婦・子ども向けタクシー	取組事業者数	6	3	6	1	16.7%	5	5	地域密着の輸送サービスを提供しているタクシー事業者として、妊婦・子供タクシー事業は全事業者が取り組むべき事業であることから、引き続き全事業者が達成できるように設定した。
		取組事業者シェア	100.0%	50.0%	120.0%	20.0%	/	83%	100.0%	
	② ユニバーサルドライバー研修	受講又は認定運転者数	11	10	25	9	36.0%	25	20	UDタクシーの導入数、受講者数又は認定運転者数の推移の状況に鑑み、高齢者、障害者等利用者の安全確保、適切な接遇を推進するため、UDタクシーの導入目標値に応じた数値を設定した。
		受講運転者シェア	5.4%	4.9%	12.3%	5.3%	/	12.2%	11.8%	
	③ 観光タクシー	取組事業者数	5	3	6	2	33.3%	5	5	受講済み運転者の退職、運転者不足等により、取組事業者、受講者等が減少したが、インバウンド及び国内観光客の増加傾向に対応し、観光県長崎を推進していくためにも前年度と同様の数値を設定した。
		受講済又は認定運転者数	11	6	50	5	10.0%	50	10	
		受講済又は認定運転者シェア	5.4%	2.9%	24.5%	2.9%	/	24.4%	5.9%	
	④ 外国語講習	受講済者数	0	0	16	0	0.0%	16	5	近年の受講者は「ゼロ」と目標には全く届いていない。また、地域の特性から外国人の利用者もあまり見込めないため、当分の間、各社1名を目指すということを前提とした目標を設定した。
		受講又は認定運転者シェア	0.0%	0.0%	7.8%	0.0%	/	7.8%	2.9%	
	⑤ アプリ配車	導入事業者数	2	2	4	2	50.0%	4	5	燃料の高騰、人件費の引き上げ、運転者の減少等に伴い、目標を達成できなかったが、利用客の利便性の向上、乗務員の負担軽減を図るとともに、今後、日本版ライドシェアの導入も予想されることから、事業者の財政状況に鑑み、前年度と同数の目標を設定した。
対応車両数		129	104	130	99	76.2%	130	130		
対応車両数シェア		83.8%	67.5%	84.4%	64.3%	/	84.4%	84.4%		
⑥ UDタクシー	導入車両数	4	8	10	5	50.0%	10	10	様々な利用客に対する適切な対応ができるようUDタクシーの導入は継続的に進めるべきであるが、燃料の高騰、人件費の引き上げ等事業者の財政状況が厳しい現状に鑑み、前年と同数の目標を設定した。	
	導入車両数シェア	2.6%	5.2%	6.5%	3.2%	/	6.5%	6.5%		
⑦ 環境対応車	導入車両数	0	0	1	0	0.0%	1	1	PHV、EV、燃料電池車両など環境対応車は、未だ車両価格が高く、事業者の財政状況からして導入は進んでいない。カーボンニュートラルを見据え、国等の補助率の引き上げがあれば今後導入を検討していくこととし、当面は1台目標とすることを維持する。	
	導入車両数シェア	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	/	0.6%	0.6%		
⑧ 先進安全自動車	導入車両数	0	0	8	0	0.0%	8	5	車両価格が高く、事業者の財政状況からして未だ目標値を達成する状況にないが、安全性の向上を図るためにも引き続き同車両の導入を推進する必要があるため、当分の間、各社1台を目指すということを前提とした目標を設定した。	
	導入車両数シェア	0.0%	0.0%	5.2%	0.0%	/	5.2%	3.2%		
⑨ クレジットカード・電子マネー対応	導入車両数	124	140	152	137	90.1%	154	154	利用客の利便性の向上、乗務員の負担軽減を図るため、引き続き導入車両数シェア100%とするよう設定した。	
	導入車両数シェア	80.5%	90.9%	98.7%	89.0%	/	100.0%	100.0%		

・令和7年度目標値シェアは、令和5年度の数値を分母としている。